

# 永井 利明 議員 誠進会



## 問 中学生の職場体験学習の意義は

## 答 適切な労働観、職業観の育成

問 職場体験学習の沿革は。

答 (教育部長) 平成3年

弥富中、平成12年十四山中、平成13年弥富北中開始。

問 キャリア教育と職場体験学習との関係は。

答 キャリア教育を推進する上で、職場体験学習は大変有効である。

問 職場体験を行う学年、時期は。

答 中学2年生、5月から6月。

問 何日間の体験か。

答 各校3日間。

問 近隣中学校の様子は。

答 近隣では津島市、愛西市、蟹江町も同様。

問 職場体験学習の教育効果は。

答 アンケートでは、生徒も受け入れ事業所も90%強有効と答えている。

問 体験中の事故、器物損壊などの場合、処置の準備はあるか。

答 県教育委員会の賠償保険などで対応。

問 生徒がどんな労働観、職業観を持つことを期待して実施しているか。

答 自分の生き方や進路を深く考える。

問 市長総括を。

答 (市長) キャリア教育を通じて職業人として輝くことを願っている。

問 市有バスの台数、購入後の経過年数は。

答 (総務課長) 2台。35人乗りは18年、40人乗りは14年。

問 故障などトラブルの心配はないか。

答 3ヶ月点検を実施。

問 バスの運転手は外部委託か。

答 外部委託で運転手13人。現在どんな人たちがどんなことに利用しているか。

答 福寿会、小中学校、社会福祉協議会、市の公務。

問 中学校の年間使用回数

答 (教育部長) 55回。

問 小学校の年間使用回数

答 45回。

問 1年間の稼働日数は。

答 (総務課長) 203日。

問 活用範囲を増やしていく考えは。

答 現在の取り扱いの中で運行していく。

問 新規にバスを購入する予定は。

答 点検結果を踏まえ、購入時期を考える。

問 市長総括を。

答 (市長) 一定の制限はあるが、より多くの市有バス利用を。



**問** 市有バスの活用運営の実際は

**答** 小中学校や福寿会などで利用



▲市が所有する2台のバス